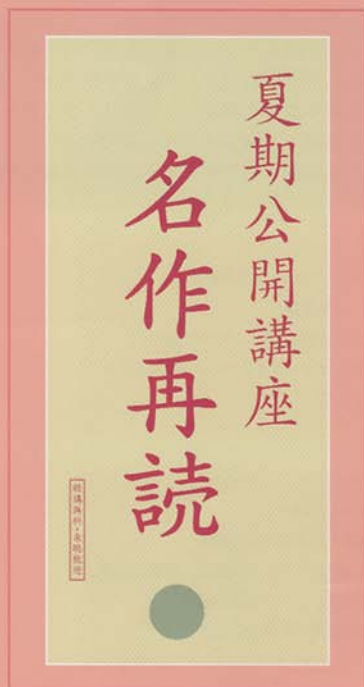


いま読んだらこんなに面白い



- 大浦 康介：『ボヴァリー夫人』の問い
高橋 世織：『坊っちゃん』と『風の又三郎』
一貴種流離譚としての読み比べ
金 文京：『論語』のなかの物語

「名作再読—いま読んだらこんなに面白い」

いつか読んだあの本、もういちど読みたいこの本—名作は時を越えてよみがえり、常に新しい発見、思いがけない冒険へと私たちを誘います。人文研アカデミー・夏期講座2006では、古今東西のすぐれた作品を専門家がわかりやすく解説し、スリリングな読みを提供するシリーズ第一弾をお届けします。題して「名作再読—いま読んだらこんなに面白い」。

あの言葉、あの場面（シーン）を思い出しながら、この未来形の知の冒険に参加してみませんか？



大浦 康介（おおうら やすすけ）人文研教授

専門：文学理論・表象理論

編著：『文学をいかに語るか』、『哲学を読む』

訳書：ピエール・バイヤール『アクロイドを殺したのはだれか』など



高橋 世織（たかはし せおり）

文芸評論家・元早稲田大学教授

専門：日本近代文学、モダニズム研究、映像文化論

著書：『感覚のモダン』、『表象の越境』

『日本近代文学のすすめ』など



金 文京（きん ぶんきょう）人文研所長・教授

専門：中国文学史

著書：『三国志演義の世界』、『中国の歴史 三国志の世界：後漢三国時代』など

〈人文研アカデミー 今後の予定〉

人文研本館大会議室・申込不要・無料

●「日本の中のナチズム」

7月10日（月） 13:30～18:00

山室信一・片山杜秀・藤原辰史

●「東アジアにおける健康思想の系譜」（共同研究セミナー）

9月28日、10月5・12・19・26日（各木曜） 17:30～19:00

武田時昌・森村謙一・大平桂一・長野仁・寄金文嗣